

	やわたはまし 八幡浜市	〒796-8501 八幡浜市北浜一丁目1番1号		電話 番号	(0894) 22-3111
		地域 指定	離島 半島 過疎 低工 農工 辺地(15) 特農 農振 国立公園 県立公園 拠点都市	FAX	(0894) 24-0610 (代表)

<http://www.city.yawatahama.ehime.jp/>

〈沿革〉

平17. 3.28 市制施行
(八幡浜市・保内町 合併)

〈市町のあらまし〉

愛媛県の最西端佐田岬半島の付け根にあり、北は瀬戸内海、西は宇和海に面し、四国の西の玄関口となっている。

海と山の豊かな自然を背景に、みかんと魚を中心とする生産流通基地として、又、商工業は明治の初め頃「伊予の大阪」と謳われるなど、南予地域の中心都市として栄え、保内地域でもハゼ栽培、海運業及び銅採掘などで活況を呈した。

平成の大合併により、八幡浜市と保内町が合併し新八幡浜市が誕生し現在に至っている。

〈由来〉

八幡浜という地名は、養老元年(717年)に八幡大神がこの地の浜に立たせられたことによると古文書に記されている。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭59年度		

〈行政組織〉

(平成30.4.1現在)

議 会 (平成30.4.1現在)

職員数 (平成30.4.1現在)

区 分	名 前	任 期	議長	新宮 康史	副議長	石崎 久次	普通会計	304人
市 長	おおしろ 大城 一郎	平成33. 4.23	議員	(条例定数) 16人			企業会計	245人
				(現 員) 16人			その他会計	27人
副市長	橋本 顕治	平成33. 9.30	任期	平成33. 8.27			計	576人

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	30.1.1住基
人 口	(△6.2%) 50,271	(△5.7%) 47,410	(△6.8%) 44,206	(△6.7%) 41,264	(△7.0%) 38,370	(△8.9%) 34,951	34,546
男	23,215	21,892	20,393	19,044	17,766	16,282	16,138
女	27,056	25,518	23,813	22,220	20,604	18,669	18,408
世帯数	17,141	17,067	16,755	16,273	15,849	14,995	16,267

年齢構成（平27国調）

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上
人 口	3,558 人	18,209 人	13,058 人
構成比	10.2 %	52.1 %	37.4 %

選挙人名簿
登録者数（平30.12.1現在）

男	13,678 人
女	15,951 人
計	29,629 人

〈土地利用〉

（平27.2.1現在）（ha. %）

総 面 積 平29.10.1(km)	林野面積	林 野 率		経営耕地面積			宅 地 化 率 平29.1.1
				田	畑	樹園地	
132.68	7,041	53.1	2,426	24	22	2,380	5.5

〈産 業〉 産業構造

（百万円・人）

区 分	総生産額(平26年度)		就業人口(平27国調)	
第1次	8,175	8.3 %	3,570	21.2 %
第2次	17,848	14.6 %	3,139	18.6 %
第3次	85,923	77.1 %	10,136	60.2 %
計	111,946	100.0 %	16,845	100.0 %

（注）「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業（平28年）

（百万円）

品 名	製造品出荷額等
食料	26,310
輸送用機械	7,111

所得（平27年度）

1人当たり 市町民所得	2,238 千円
----------------	----------

平成29年度の主な建設事業

（百万円） 今後の主な建設事業

（百万円）

事 業 名	事 業 費	事 業 名	事 業 費
耐震フェリー栈橋整備事業	918	耐震フェリー栈橋整備事業	3,533
保内総合児童センター(仮称)建設事業	276	防災行政無線デジタル化事業	1,478
農産物加工施設建設事業	221	教育文化施設等建設事業	1,000
上水道老朽管更新事業	196	水産物供給基盤機能保全事業	771
第二建設残土処理場築造事業	170	上水道老朽管更新事業	669
宮内地区公民館建設事業	141	保内総合児童センター建設事業	649
強い農業づくり交付金事業(川上共選選果機)	136	基幹水利施設ストックマネジメント事業	567
市道改良事業(双岩南久米線)	135	フェリーターミナル整備事業	500
公共下水道整備事業	123	第二建設残土処理場築造事業	462

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	自然休養林諏訪崎 愛宕山公園 四国山 斐光園 梅之堂三尊仏(国重要文化財) 金山出石寺 おさかな牧場「シーロード八幡浜」 平家谷公園 琴平公園 三島神社(神像五軀、神像二軀、懸仏一面) 二宮敬作記念公園 前田山記念公園 富澤赤黄男句碑広場 旧白石和太郎洋館 大島シュードタキライト及び変成岩類(国天然記念物) 梅美人酒造(登録有形文化財) 二宮忠八生誕地 道の駅みなとオアシス「八幡浜みなと」 八幡浜街道笠置峠越(国史跡)
祭 り 催 し 物	真穴の座敷びな(4月2・3日) 川名津の柱松神事(4月第3土曜) さくら祭り(4月上旬) 梅之堂三尊仏縁日(4月16日、5～12月の第2日曜日、8月15日、10月19日も公開) 二宮忠八翁飛行記念大会(4月29日) 五反田柱まつり(8月14日) みなと花火大会(8月15日) みなと祭り(10月18日～19日) 三島神社秋季大祭(10月第4土曜日) 文化のつどい(11月上旬) 富澤赤黄男顕彰俳句大会(3月上旬) ふれあい市(毎月第1日曜日) 八日市(毎月8日) 市民健康マラソン八幡浜駅伝カーニバル(2月上旬) やわらはま国際MTBレース/マウンテンカーニバルでGO!(5月ころ) 日土みかんの花祭り(5月第2土曜日) 中津川百矢祭(4月第3土曜日から日曜日) 高野地一日行楽神楽(4月中旬の日曜日) てやてやウェーブ(8月12日) 国重要文化財日土小学校校舎見学会(年3回) 佐田岬ふるさとウォーク(5月第3土曜日) サイクリング佐田岬(9月下旬) 二宮敬作ウォーク(11月上旬の土曜日) やわらはまMTB&リレーランチャレンジ(11月)
公 営 宿 泊 施 設	

〈名物・特産品〉

みかん 富士柿 かまぼこ じゃこ天 じゃこカツ 海産物 削りかまぼこ 唐饅 豆板 つわぶきの粕漬 和洋菓子
いよ柑 清見 てやてや鯛 八幡浜ちゃんぽん

〈主な公共施設〉

総合福祉文化センター(中央公民館、老人憩いの家) 中央公民館保内別館 市民スポーツセンター 保内中央体育館
市民スポーツパーク(フラワーズゾーン、冒険ゾーン、スポーツゾーン、マウンテンバイクコース) 王子の森公園(王子の森スタジアム) 北浜公園 双岩コミュニティ公園 平家谷公園 武道館 文化会館 市民図書館 保内図書館 児童館
児童センター 養護老人ホーム(湯島の里、あけぼの荘) 水産物地方卸売市場 保健福祉総合センター
保内保健福祉センター 市立八幡浜総合病院 火葬場やすらぎ聖苑 南環境センター 北環境センター 消防本部
一次救急休日夜間診療所 青石寮 観光センター シーロード八幡浜 八幡浜みなと
みかんの里宿泊・合宿施設「マンダリン」 大島交流館「大島テラス」

〈主要課題〉

- 健康・福祉
児童福祉・少子化対策の推進/健康で生きがいに満ちた高齢社会の実現/障害者の自立と社会参加/健康づくりの推進/医療体制の充実
- 産業・観光
農林業の振興/水産業の振興/商工業の振興/雇用の場の確保/観光の推進
- 防災・環境
防災・減災対策の推進/消防・救急体制の充実/日常生活における安全対策の推進/自然環境・景観の保全/循環型社会の実現
- 都市基盤
道路の整備及び機能維持/港湾の整備及び機能維持/上水道の機能確保/下水道の機能確保/効果的な土地利用及び施設配置/情報インフラの活用
- 教育・文化・スポーツ
学校教育の充実/自己学習・教養の場づくり/人権学習の推進/スポーツの推進/文化の継承及び活用
- 市民活動・産官学連携
市民活動の推進/産官学連携の推進
- 財政運営
健全財政の維持/公共施設等の適正かつ効率的な管理運営

〈地域づくりの事業等〉

- 二宮忠八翁顕彰事業
世界に先駆け飛行機を考案した「二宮忠八翁」生誕の地として、その偉業を後世に顕彰するため、『二宮忠八翁顕彰基金』を設置し、その運用基金の活用により飛行記念大会の拡大充実、忠八翁及び飛行機に関する資料の収集並びに関連施設等の事業を推進し、豊かで活力と個性ある地域づくりを目指していく。
- 国際交流協会
国際交流事業を行うことにより、国際的視野を有する人材を育成し、もって市の活性化を図ると共に国際親善に寄与することを目指す。
- 八幡浜市市民提案型まちづくり事業
市民団体等が自主的・主体的に実施する魅力あるまちづくり活動等に対し、市が補助金を交付し、市民提案型のまちづくりを支援する。

(平成30.4.1現在)

